

第83回学習会議事録

1. 日時：11月15日（木）14：00～17：00

2. 場所：JAビル7F会議室

3. テーマ：「世界の食糧需給と我が国の対応」

4. 講師：

(1) 丸紅経済研究所 所長 柴田明夫 氏

(2) JA全中 農業対策部畜産園芸対策課課長 藤井昌啓 氏

5. 参加者：95名

フォーラム会員、地方フォーラム会員、一般参加者

6. 概要：

(1) 柴田氏より1時間25分程度、別紙資料「世界の食糧需給と我が国の対応」にもとづき、世界経済・国際資源状況、穀物生産・需給と在庫状況、今後の生産・需給見通し、バイオマス燃料と穀物生産の関係、おんだんか・農地・水問題、日本の自給率と課題、今後の農業生産への取り組みについて報告があった。続いて藤井氏より40分程度、別紙資料「飼料価格高騰への畜産関係者の対応方向」にもとづき、畜産の農業算出面での位置付け、最近の畜種別動向、穀物需給のひっ迫、輸入や飼料費のウエイト、生産者負担の急増状況、生産農家の経営状況の変化と努力、地域や関係者の新たな取組み、生産性向上の主課題、消費者理解や協力についての説明があった。

(2) 会場参加者からは、化石燃料の埋蔵状況、中国やインド等の動向、新たなステージの見込み等について質問があった。

7. 主な質疑

①Q：原油アップにおける投機マネーの与えている影響はどのようなものか。

A：投機マネーが入ってきて価格がアップしているのは間違いないが、そのウエイトがどの位かは不明である。主な背景として①日本の低金利（海外との金利差）②オイルマネー、③アメリカの貿易収支の赤字がある。需給の変化を矛盾として捉え、ビジネスチャンスとしている。

②Q：石油や石炭などの化石燃料の埋蔵状況はどうか。

A：資源をどのように定義するかによって状況は大きく変わることを理解すべきである。

地上の石油は探しつくされている。埋蔵推定で2兆バーレルのうち1兆バーレルは掘られたようだ。残っているのは海底やタールサンドであり技術やコスト問題がある。またナショナリズム問題もある。

一方石炭が注目され、ベトナム、モンゴルは有力視されている。

石炭、天然ガスは100年～200年位の埋蔵量はあるといわれている。

③Q：中国のトウモロコシ需要の今後の見込みはどうか。

A：需要が年々増加していることは間違いない。国策としてトウモロコシ生産

拡大に取り組んでいるが、年々の需要増により将来は輸入国になりそうであるが、もし輸入する場合はアメリカからの輸入となることから、現状では政治面からアメリカ依存は出来ないので、現在は自力生産を考えている。

モンサント社の遺伝子組換え技術の特許が 2014 年に切れるので、これを待っているようにも見えるが、今の推移で、ここまで持つのだろうかと思っている。

④Q：飼料高騰問題の解決には最終商品の値上げしかないのではと思うが、消費者理解にむけてどのようなことをやっているのか。

A：流通形態が複雑であり、量販店、小売中心の消費実態であることから、こちらへのアプローチは必要と思っている。

消費者理解を求めることは、具体的には価格アップとなるが、最終的には我で飼育した畜産を選択してくれるのか、安い外国産が良いと思うかの判断であり、言い方を変えれば、日本に畜産が必要なかが問われているともいえる。

⑤Q：三井物産がブラジルの農業生産法人を買収したようだが、各商社の海外生産への動きはどんな状況か。

A：まず穀物メジャーだが、次のことを明確に選択している①中国マーケットが大きく拡大しており抑えておく、②南米の供給基地を押さえる、③マーケティング活動として中国、アジアを押さえる。

日本の商社は依然としてアメリカ中心である。一部三井物産のように南米を視野に入れ始めた状況である。

⑥Q：アメリカのバイオマスへの転換は、ブッシュ大統領の価格高騰を導くための戦略と思うがどうか。

A：そういう面もあると思う。2001 年大統領就任後のカリフォルニアでの電力危機では、21 世紀エネルギー危機対応として石油価格がアップした。2003 年頃には需給構造の変化（例えば環境保護政策関連、中東依存体制、エタノール問題や農業刺激）から 100 ドル時代が来ると言っていた。

⑦Q：現在の動向が安定化し、新たな次のステージになるのはいつ頃か。

A：中国経済における産業構造がサービス業、物流、観光、IT 等に落ち着くのは 2010 年代の半ば頃と思っている。政策的には第 12 次計画の終り頃だろうと考える。

⑧Q：EUのアニマルウェル取り組みへ動きに対して、日本の取り組みはどのような状況か。

A：畜産の安全安心やブランド力からの面からも日本の実態にあったアニマルフェアを確立していく必要があると思う。現在は、農水省や関係機関等で研究が進められている段階である。

以 上